

# 牧之原市ICT教育 力の形成マップ

令和元年度 牧之原市ICT教育研究員作成

		低学年	中学年	高学年	中学 1 年生	中学 2 年生	中学 3 年生
活動スキル	目的に応じてICT機器を操作する力	起動や終了などの基本的な操作ができる。 マウスやタッチパネルを操作し、絵を描いたりすることができる。	必要に応じて各機器の基本的な操作ができる。 10分間に50～100文字程度の文字を入力することができる。	10分間に100文字程度の文字を入力することができる。 必要に応じてフォルダを作成してデータ保存	必要なアプリケーションを自分で選択し、活用することができる。 10分間に150～200文字程度の文字を入力する	用途に応じて複数のアプリケーションを組み合わせ活用することができる。 10分間に200～300文字程度の文字を入力することができる。 アプリケーション操作や機器の接続等に関する簡単	
	ICT機器の利便性と危険性を意識して活用する力	伝える相手を意識して、自分の考えや気持ちを手紙等で伝えることができる。	情報の中には誤った情報や信頼性の低い情報もあることに気づくことができる。 インターネットを介して、自分の考えや気持ちを誤解のない表現で伝えることができる。	検索した情報の中から信憑性の低い情報や、不必要な情報を選択することができる。 電子メール等を用いて、自分の思いを誤解のないように伝えたり、相手の気持ちを考えたりしてコミュニケーションを図ることができる。			
探究スキル (探究・交流・共有・発信)	ICT機器を使ってわからないことを調べる力	図書館を活用し、興味のある情報を探すことができる。 知りたい情報を引き出すためのキーワードを	思い浮かんだ単語を入力し、必要な情報を検索することができる。 複数のキーワードを組み合わせ、必要な情報を検索することができる。	検索で得られた複数の情報の中から必要な情報を選択・抽出することができる。		検索で得られた複数の情報の中から必要な情報を選択・抽出することができる。 必要な情報を収集できなかった場合に、キーワードやその組み合わせを変更し、必要な情報を効率よく引き出すことができる。	
	ICT機器を使って考えをまとめたり、記録したりする力	アプリケーションを使用して写真撮影し、保存したり見たい画像を見たりすることができる。 実物投影機を使って自分の説明を映像で補うことができる。	見学・インタビュー・アンケート・観察・実験・Web検索等で収集した情報を整理し、要点をまとめたり、考察したりすることができる。 簡単な文書やプレゼンテーション等を作成	実験・観察・Web検索等で集めた情報を目的に応じて加工したり配置したりして、思考の整理に役立てることができる。		集めた情報をもとにして統計処理等を行い、傾向や規則性等を調べたり予想したりすることができる。	
	ICT機器を使って効果的に説明したり、考えを共有したりする力	授業支援ソフトを使用し、タッチパネルを使って、自分の考えを書き込んだり、提出したりすることができる。	目的に応じて配色や色合い、文字の大きさなどを変更することができる。 授業支援ソフトを使い、自分の考えを書き込んだり提出したりできるとともに、交流に役立てることができる。	文字・写真・表・グラフ等を組み合わせてレポートやポスター、プレゼンテーション等を作成し、効果的に説明したり、主張したりすることができる。 資料となる動画や画像を撮影し、簡単な編集や加工をすることができる。			
プログラミング	ICT機器を用いたプログラミング的思考の育成	命令によって動かすことのできるおもちゃやロボット、人やワークシートを使って、プログラミングの基礎を理解することができる。	算数・理科等の授業において、論理的な思考にもとづいて簡単なプログラミングを行うことができる。	技術・家庭科の授業において、論理的な思考にもとづいて簡単なプログラミングを行うことができる。 各教科の学習においてもプログラミング的思考を生かした考え方をすることができる。			